

はたらく今日が、いい日に。



2025年12月22日  
パーソルキャリア株式会社

## 転職サービス「doda」、出世に関する意識調査 出世したくない人は58.5% ～最多理由は「リーダーシップやマネジメントへの苦手意識」～

パーソルキャリア株式会社が運営する転職サービス「doda（デューダ）」（編集長：桜井 貴史）は、20～59歳のビジネスパーソン15,000人を対象に、出世の希望やその理由を調査しましたので、結果をお知らせいたします。

調査結果の詳細：[出世したくない人は58.5% 「出世」から考える自分にあったキャリアの選び方](#)



### 【主な調査結果】

#### ▶いまの会社での出世意欲について

(全体) ビジネスパーソン15,000人のうち非管理職を対象に調査。「出世したくない」と「どちらかといえば出世したくない」の割合の合計は58.5%で、「出世したい」と「どちらかといえば出世したい」の割合を合わせた32.9%を大きく上回る結果に。

(年代別) 20代では「出世したい」と「どちらかといえば出世したい」を合計すると46.3%、「出世したくない」と「どちらかといえば出世したくない」を合計すると47.9%でほぼ同じ割合に。50代は「出世したくない」と「どちらかといえば出世したくない」の割合を合算すると67.5%で最多。

#### ▶いまの会社で出世したくない理由

(全体) 「リーダーシップやマネジメントが苦手だから」(35.3%) が最多

(年代別) 20代は「上司としての責任を負いたくないから」(42.9%)、30代は「リーダーシップやマネジメントが苦手だから」(38.4%)、40代は「高いプレッシャーやストレスに耐えられないから」(36.3%)、50代は「上司や管理職の仕事が魅力的に感じられないから」(32.9%) がそれぞれトップに。

#### ▶出世しないという選択に対する心配事

「収入面の待遇向上が見込めない」(37.8%) が最多。

## ▶出世して変わったこと・よかつたこと

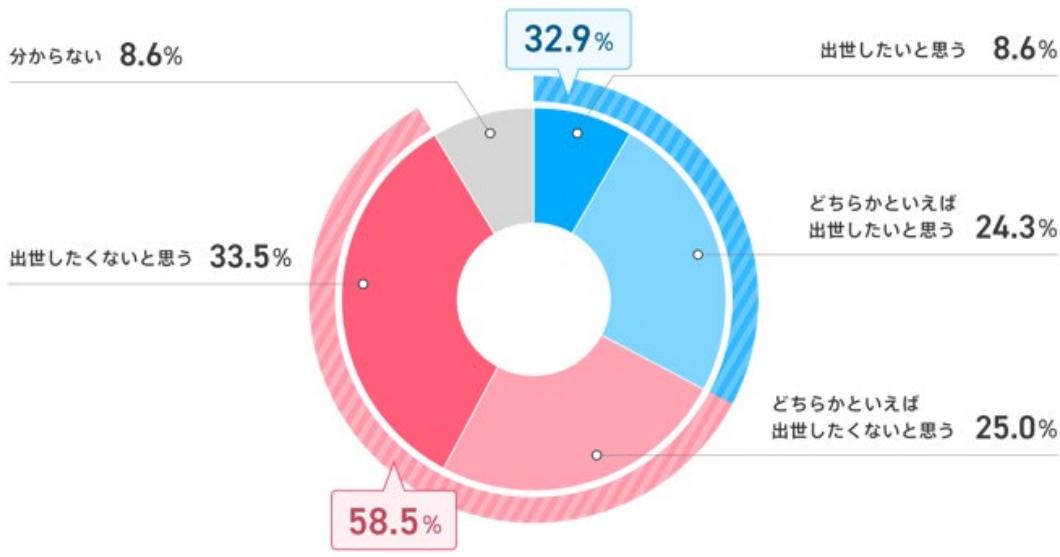
出世経験がある役職者を調査。変わったことは「仕事に対する責任」(49.1%)が最も多く、「仕事の役割（業務→マネジメント業務）」(41.5%)が続く。役職に就いてよかつたことは、「給与や報酬が増えた」(43.3%)が2位以降を大きく引き離してトップに。

### (全体)「いまの会社で出世したくない」と思った人は 58.5%

ビジネスパーソン 15,000 人のうち非管理職に、「いまの会社で出世したいか」について聞いたところ、「出世したい」8.6%、「どちらかといえば出世したい」24.3%、「どちらかといえば出世したくない」25.0%、「出世したくない」33.5%となりました。

「出世したい」「どちらかといえば出世したい」の回答割合を合わせると 32.9%、一方で「出世したくない」「どちらかといえば出世したくない」の合計は 58.5%で、半数を超える結果となりました。【図①】

【図①】いまの会社で出世したいと思いますか？



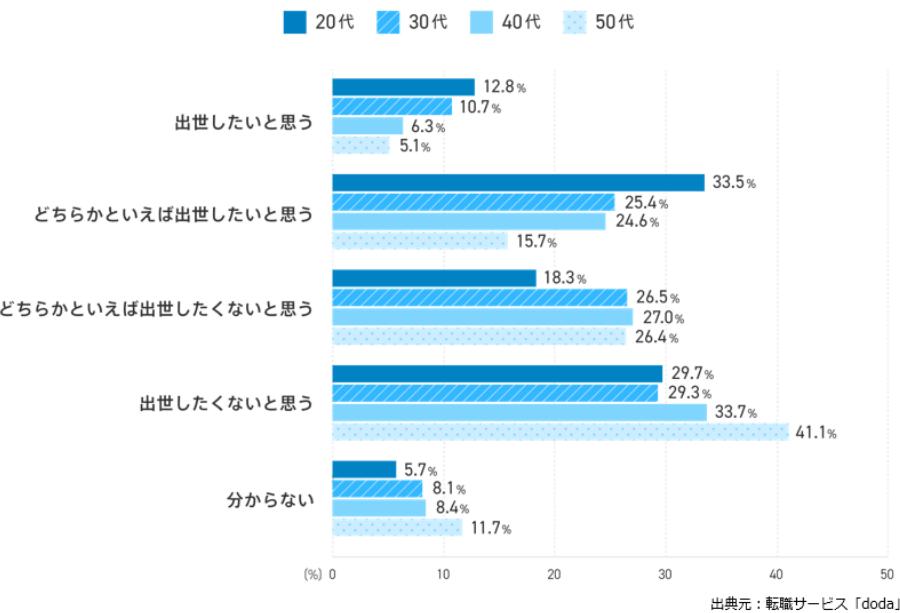
出典元：転職サービス「doda」

### (年代別) 20代が最も出世意欲が高く、年代が上がるほど“出世したくない”的割合が増加

出世意向を年代別に見ると、「出世したい」「どちらかといえば出世したい」を合わせた割合は、20代 46.3%、30代 36.1%、40代 30.9%、50代 20.8%でした。一方、「出世したくない」「どちらかといえば出世したくない」を合わせた割合は、20代 47.9%、30代 55.8%、40代 60.8%、50代 67.5%となりました。

20代では出世したい人と出世したくない人の割合がほぼ同程度でしたが、年代が上がるにつれて、出世したくないと考える人の割合が増える傾向が明らかになりました。【図②】

## 【図②】【年代別】いまの会社で出世したいと思いますか？

**いまの会社で出世したくない理由：最多は「リーダーシップやマネジメントが苦手だから」（35.3%）**

「出世したくない」または「どちらかといえば出世したくない」と回答した人に、その理由を聞いたところ、最も多かったのは「リーダーシップやマネジメントが苦手だから」（35.3%）でした。次いで「新しい責任を負うことに不安を感じるから」（35.2%）、「高いプレッシャーやストレスに耐えられないから」（34.2%）、「上司や管理職の仕事が魅力的に感じられないから」（32.3%）、「上司としての責任を負いたくないから」（30.2%）、「プライベートの時間が犠牲になるイメージがあるから」（29.1%）などが主な理由として挙がりました。【表①】

【表①】出世したくない理由（複数回答可）

出世したくない理由（複数回答可）	割合
リーダーシップやマネジメントが苦手だから	35.3%
新しい責任を負うことに不安を感じるから	35.2%
高いプレッシャーやストレスに耐えられないから	34.2%
上司や管理職の仕事が魅力的に感じられないから	32.3%
上司としての責任を負いたくないから	30.2%
プライベートの時間が犠牲になるイメージがあるから	29.1%
責任に対して給与・報酬が不十分だと感じるから	28.4%
出世による責任が重くなるイメージがあるから	27.7%
通常の業務に加え、管理業務が増えるイメージがあるから	24.1%
自分のスキルや能力に自信がないから	20.4%
自分の価値観やライフスタイルに合わないから	19.6%
現在の職務や役割に満足しているから（仕事内容）	19.1%
マルチタスクが苦手だから（管理業務と自分の業務を行うという意味で）	16.1%
組織の政治や内部競争に巻き込まれたくないから	14.9%
出世すると人間関係が複雑になるイメージがあるから	14.7%
今の待遇に満足しているから（お金）	11.9%
現在の職場環境が気に入っているから	10.9%
転勤や異動の可能性が増えるから	9.2%
その他	2.7%

出典元：転職サービス「doda」

年代別に見ると、20代は「上司としての責任を負いたくないから」(42.9%)、30代は「リーダーシップやマネジメントが苦手だから」(38.4%)、40代は「高いプレッシャーやストレスに耐えられないから」(36.3%)、50代は「上司や管理職の仕事が魅力的に感じられないから」(32.9%)となり、年代ごとに出世したくない主な理由は異なる結果となりました。

また、20代から50代のいずれの年代にも突出して多い理由は見られませんでしたが、20代の「上司としての責任を負いたくないから」(42.9%)は、他年代より高い傾向にあることが分かりました。【表②】

【表②】【年代別】出世したくない理由（複数回答可）

出世したくない理由（複数回答可）	20代	30代	40代	50代
リーダーシップやマネジメントが苦手だから	35.7%	38.4%	35.9%	31.6%
新しい責任を負うことに不安を感じるから	40.4%	38.2%	33.4%	31.1%
高いプレッシャーやストレスに耐えられないから	40.1%	35.5%	36.3%	27.9%
上司や管理職の仕事が魅力的に感じられないから	26.7%	32.3%	35.3%	32.9%
上司としての責任を負いたくないから	42.9%	33.3%	26.8%	23.2%
プライベートの時間が犠牲になるイメージがあるから	32.4%	29.5%	30.5%	25.8%
責任に対して給与・報酬が不十分だと感じるから	27.4%	28.5%	30.7%	26.8%
出世による責任が重くなるイメージがあるから	25.7%	31.0%	30.8%	22.8%
通常の業務に加え、管理業務が増えるイメージがあるから	21.5%	23.8%	26.5%	23.5%
自分のスキルや能力に自信がないから	24.1%	24.1%	19.4%	15.6%
自分の価値観やライフスタイルに合わないから	19.7%	19.2%	19.1%	20.3%
現在の職務や役割に満足しているから（仕事内容）	15.4%	19.0%	18.0%	22.0%
マルチタスクが苦手だから（管理業務と自分の業務を行うという意味で）	21.4%	16.2%	15.6%	13.6%
組織の政治や内部競争に巻き込まれたくないから	15.0%	15.1%	14.6%	14.9%
出世すると人間関係が複雑になるイメージがあるから	11.1%	15.8%	16.3%	14.0%
今の待遇に満足しているから（お金）	10.2%	13.8%	11.0%	11.9%
現在の職場環境が気に入っているから	10.0%	9.2%	12.2%	11.7%
転勤や異動の可能性が増えるから	13.1%	8.9%	8.9%	7.6%
その他	0.2%	2.0%	2.7%	4.6%

出典元：転職サービス「doda」

### 出世しないという選択に対する心配事：最多は「収入面の待遇向上が見込めない」（37.8%）

出世をしないという選択をした場合の不安として、最も多かったのは「収入面の待遇向上が見込めない」(37.8%)でした。次いで「やる気がないのではと思われる」(16.4%)、「仕事の成果が正当に評価されなくなる」(11.5%)となりました。【表③】

不安の内容は多岐にわたりますが、近年ははたらき方が多様化し、企業によっては役職に就かず専門職（スペシャリスト）としてはたらける制度や、資格取得・スキル習得を支援する仕組みの整備が進んでいます。また、ジョブローテーションや社内副業制度を導入する企業も増えており、出世以外のキャリア形成の選択肢も広がっています。

【表③】出世しないという選択に対する心配事（複数回答可）

出世しないという選択に対する心配事（複数回答可）	割合
収入面の待遇向上が見込めない	37.8%
やる気がないのではと思われる	16.4%
仕事の成果が正当に評価されなくなる	11.5%
人間関係がギクシャクしてしまう	8.2%
キャリアの選択肢が狭まる	8.0%
転職時に不利に働いてしまう	7.8%
任される仕事の範囲が限定的になってしまふ	7.2%
社会的な信頼を得づらくなってしまう	6.1%
学びの機会が減ってしまう	5.2%
その他	0.5%
心配事はない	36.2%

出典元：転職サービス「doda」

### 出世したことで変わったこと・よかつたこと

出世した人（現在役職に就いている人）に、出世後に変化したことを聞いたところ、最も多かったのは「仕事に対する責任」(49.1%)でした。次に「仕事の役割（業務→マネジメント業務）」(41.5%)、「ストレスやプレッシャー」(39.2%)が続きます。多くの人が出世によって仕事内容やはたらき方に大きな変化を感じていることが読み取れます、特に役職に就くことで組織運営への関与が深まっている様子がうかがえます。

また、役職に就いてよかつたこととしては、「給与や報酬が増えた」(43.3%)が突出して多く、2位以降を大きく引き離してトップになりました。次いで「リーダーシップやマネジメントスキルが向上した」(17.9%)と「ネットワーク（人脈）が広がった」(16.4%)となりました。

さらに、「自分の意見やアイデアが反映されやすくなった」(14.4%)、「重要な意思決定に関与できるようになった」(14.4%)など、影響力の拡大に関する回答も多く、出世がキャリア形成だけでなくスキルアップや仕事の進めやすさにも影響を与えていることが分かります。【表④】

【表④】役職に就いてよかったです（複数回答可）

役職に就いてよかったです（複数回答可）	割合
給与や報酬が増えた	43.3%
リーダーシップやマネジメントスキルが向上した	17.9%
ネットワーク（人脈）が広がった	16.4%
キャリアの幅が広がった	15.9%
自分の意見やアイデアが反映されやすくなった	14.4%
重要な意思決定に関与できるようになった	14.4%
社会的な評価や信頼が高まった	13.0%
新しいことに挑戦しやすくなった	12.8%
経済的な安定により生活が充実した	12.4%
仕事に対する達成感や満足感が高まった	11.8%
仕事へのモチベーションが高まった	11.7%
チームの成長に貢献できるようになった	10.2%
自己成長やスキルアップの機会が増えた	10.1%
部下や同僚との信頼関係が深まった	7.9%
会社全体や業界に対する影響力が増した	7.0%
新しいビジネスチャンスやプロジェクトに関与できるようになった	3.7%
家庭やプライベートにも役立つスキルが身についた	2.8%
その他	0.6%
役職に就いてよかったですはない	24.4%

出典元：転職サービス「doda」

**解説：doda 編集長 桜井 貴史**

はたらき方や価値観が多様化する中で、キャリアアップの捉え方も変化しています。今回の調査結果では、出世や昇進を必ずしも目指さない人が一定数存在することが明らかになりました。

近年では、管理職以外にも専門職など多様なキャリアパスを用意する企業が増え、管理職になることが必ずしも納得感のある選択とは限りません。管理職に就くことで得られる成長機会や報酬、裁量に魅力を感じる人もいれば、家庭や趣味とのバランスを重視して別の道を選ぶ人もいます。

多様な選択肢が存在するいま、こうした傾向は自分の価値観やライフスタイルを重視して主体的にキャリアを選択する「キャリアオーナーシップ」の広がりを示していると考えられるでしょう。

**【解説者プロフィール】****doda編集長 桜井 貴史（さくらい・たかふみ）**

新卒で大手人材会社に入社し、一貫して国内外の学生のキャリア教育や就職・転職、幅広い企業の採用支援事業に携わる。2016年11月、パーソルキャリア株式会社に中途入社。同年、株式会社ベネッセホールディングスとの合弁会社、株式会社ベネッセi-キャリアに出向、新卒オファーサービス「doda キャンパス」の立ち上げを牽引し、初代dodaキャンパス編集長に。その後、同社商品サービス本部 本部長として、キャリア講座やアセスメントをはじめとした、大学生向けサービスの責任者を務める。2023年4月、doda副編集長 兼 クライアントP&M本部 プロダクト統括部 エグゼクティブマネジャーに就任し、法人向け採用支援プロダクト全体を管掌。2024年4月、doda編集長に就任。サービスを通じてこれまで60万人以上の若者のキャリア支援に携わり、Z世代の就職・転職動向やキャリア形成、企業の採用・育成手法に精通している。



**【調査概要】**

【対象者】20~59歳の男女

【雇用形態】正社員

【調査方法】ネットリサーチ会社を利用したインターネット調査

(ネットリサーチ会社保有のデータベースをもとに実施、doda会員登録の状況については不問)

【実施期間】2025年8月1日~8月8日

【有効回答数】15,000件

※ウェイトバック：正社員の地域・年代・性別に合わせて実施

※記事中の割合データは、小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります

調査結果の詳細は、[出世したくない人は58.5% 「出世」から考える自分にあったキャリアの選び方](#)を確認ください。

**【出典の明記について】**

本データを引用・転載する際は、以下の情報を必ず記載してください。Webメディアで掲載する際は、「doda」にはdodaトップページ、記事タイトルには記事URLへのリンクを設定してください。

**記載例)**

出典：[転職サービス「doda」 – 「出世したくない人は58.5%「出世」から考える自分にあったキャリアの選び方」](#)

※「doda」 = <https://doda.jp/>

※「出世したくない人は58.5%「出世」から考える自分にあったキャリアの選び方」

= <https://doda.jp/guide/ranking/108.html>

**■転職サービス「doda」について < <https://doda.jp> >**

「doda」は、「はたらく今日が、いい日に。」をスローガンに、転職サイトや転職エージェント、日本最大級のdoda転職フェアなど、各種コンテンツで転職希望者と求人企業の最適なマッチングを提供しています。